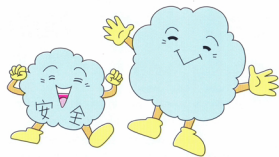


5つの特長

人体・建物一安全。

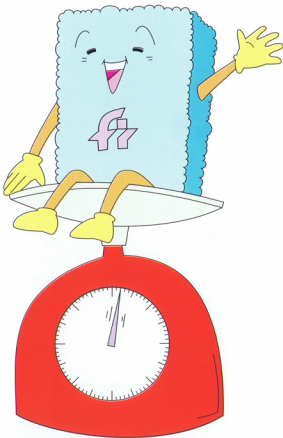
撥水

ファイバーエースは、撥水(水をはじく)処理をしておりますので、セルローズ自体吸湿性があるといっても脱脂綿のように濡れた水を吸水してしまって天井が重くなったり、濡れによる被害を増大することがありません。



安全

主な素材は木材で、使用燃料は毒性がほとんどなく、医療、化粧品等にも使われています。人体への蓄積や残留もなく、過去の使用実績から疫学的に安全性が認められています。



防錆

金属に接触しても、錆をおこすことはありません。

無チク

身体に触れても、チクチクせず。カユミがいつまでも残るというような不快感も全くありません。

軽量

極めて軽量です。接触する部分を損傷することはありません。

2つの施工法

既築建物にも施工容易。すき間のない施工。

★吹き込み工法(ルースフィル)

セルローズファイバーだけを施工機で吹き込む方式。厚さは、条件により自由に設定できますが、標準施工厚は、100mm~200mmです。

- (1) 天井裏に施工機をもちこんで、所定の厚さに吹き込みます。
- (2) 壁については、天井から間柱の間隔ごとに吹き込むやり方、ネットに小穴をあけて、そこから吹き込む方式とがあります。
- (3) 床は、その下面に、受板か、ネットをはり、その期間に吹き込みます。



★吹き付け工法(スプレーオン)

セルローズファイバーと接着剤(バインダー)を別個に噴出させて空中で混合し吹き付ける工法。標準施工厚は、15mm~30mmですが、下面吹き付けの場合は、もっと厚く施工することが可能です。施工後、速やかに乾燥、表面割離、亀裂の心配はありません。

- (1) 天井のない建物では、屋根の下面に吹き付けます。天井の下面に吹き付ける場合もあります。
- (2) 壁への吹き付けが主体となります。(内外)間仕切、柱、ダクト、機械カバーなどにも施工されています。

